



金井中だより

〒952-1208 新潟県佐渡市金井新保乙 40 番地
Tel 63-4107 <http://kanai-js.sado.ed.jp/>

〈本号の内容〉

- 1面 巻頭言
- 2面 体育祭の様子
- 3面 全国学力・学習状況調査について
- 4面 写真トピック

共に高まろうとする生徒集団

校長 香遠 正浩

9月7日の体育祭には、保護者をはじめ地域の皆様からご来校いただき、ありがとうございました。ご覧になって、どのような感想をもたれたでしょうか。

堂々とした入場行進、体育祭にかける熱い思いをとうとうと述べた実行委員長の開会の言葉、気温が30℃を超える暑さの中、一部の生徒ではなくグラウンドにいる全ての生徒が声を張り上げ、体全体で表現していた応援、心一つにして全力で挑んでいた大縄跳びをはじめとした競技種目、閉会式で「力を出し切り悔いはない」と述べた両軍応援団長の挨拶、3年生から託された思いを受け止め「大成功だった」と述べた副実行委員長の閉会の言葉、解団式で涙ながらに感謝の言葉を口にした応援団員、それら一つ一つの姿に胸が熱くなりました。これら全てが想像を超える素晴らしい姿だったからです。

見る者を感動させたこのような姿の原動力は何なのでしょう。そのベースにあったのは競技、応援、パネルそれぞれの部門で勝利したいという思いでしょう。加えて、体育祭に向けて練習や準備を重ねる中で本気度が増し、勝つための手段である「団結力を高めること」がいつの間にか自分たちの目標になっていたことにあります。

中学生の底力は、特に生徒主体の活動場面で発揮されます。中学生は思春期なので、小学生のように教師からの指示だけではなかなか主体的になりません。生徒が自らの心に火を灯すことでパワーが生まれます。それが集団となれば相乗効果も期待できます。

実際、私たち職員は生徒の成長を信じ、任せる姿勢で支援をしてきたにすぎません。3年生を中心に自分たちの意志でまとまりを強め、私たちの予想を超えるレベルになったのです。しかも、当日は真剣勝負の中にも、綱引きの場所決めのジャンケンを盛り上げようと演出するなど楽しむ姿も見られました。まさにスローガンの「本気×団結＝笑顔」という絆の方程式が具現された体育祭でした。



やる気や意欲を出す、あきらめずに粘り強く取り組む、リーダーシップあるいはフォロワーシップを発揮する、仲間と協力するといった力は、社会の中で生きていく上で重要です。これらは人と関わる中で培われます。学校においてはクラスがその基盤となります。それゆえ、今後も「共に高まろうとする集団づくり」を重視します。

集団活動として次に予定されているのは、ふれ愛発表会での合唱コンクールです。体育祭同様、入賞を目指す練習を通して学級集団としてのまとまりを強め、再び「本気×団結＝笑顔」の絆の方程式の完成形を見せてくれるものと期待しています。

成長を感じた体育祭

体育担当 宗村 伸

今年度から金井中学校に赴任してきた私にとって、金井中学校の体育祭を見るのは初めてだったわけですが、生徒たちは「これぞ金井中」という場面を何度も見せてくれました。体育祭が近づくにつれ、3年生を中心として、金井中学校が一つになっていくのを感じました。

今年度は3日前の予行練習まで天候に恵まれず、グラウンドでの動きをなかなか確認できないまま行われた体育祭でした。しかし当日は、生徒一人一人がきちんと自分の役割を果たしながら競技を進行し、大いに盛り上がり、白熱した戦いを見せてくれました。仲間を応援する姿、本気で競技に臨む姿など、その一つ一つに生徒たちの底力を感じました。生徒たちの大きな成長を感じることでできた体育祭でした。今後の活躍にも期待が高まります。

生徒たちの活動を支えていただいた保護者の皆様、地域の方々に感謝申し上げます。



中学校生活最後の体育祭・最高の思い出

3年A組

最初は、副団長としてやっていけるかなどと不安しかなかったけど、全校での応援練習などもあり、後輩のお手本になるように頑張らないと、と思いつかりやっていました。競技でも、タイヤ引きや綱引きなどで皆を引っ張らないといけなかったのですごく不安でした。当日、応援も競技もうまくいったのでよかったです。

結果、応援は取れなかったけど、二冠を取れたのでよかったです。とてもよい体育祭になりました。



3年B組

中学生最後の体育祭。笑いあり、感動ありのとてもいい体育祭になりました。応援では、初めて幹部になりました。幹部のみんなと応援のことや青軍のことについてたくさん話して、三冠を取るために頑張りました。競技では、全部楽しかったです。特に、綱引きが一番印象に残っています。じゃんけん一つであんなに楽しめるなんて思わなかったです。

最後の体育祭、中学校生活で一番の思い出になりました。最高の体育祭を本当にありがとう。



全国学力・学習状況調査の結果

全国の3年生を対象に、4月18日に全国学力・学習状況調査が行われました。この調査は、学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的として毎年実施されていますが、今年度から「知識」と「活用」を一体的に問う問題形式に変わりました。また、英語が初めて調査に加わりました。英語については、今後3年おきに実施される予定です。

実施した各教科の結果は下表のとおりです。

	国語	数学	英語
金井中学校の正答率 (%)	78	59	52
全国平均正答率 (%)	72.8	59.8	56.0
全国平均との差	+ 5.2	- 0.8	- 4.0

全国学力・学習状況調査「各教科の平均正答率」

国語は全国平均を上回っています。出題された問題ごとにも、1問を除き全ての問題で全国平均正答率を上回りました。

数学は平均には届きませんでしたが、全国水準といえます。全国的な課題として挙げられる「説明を記述する問題」では全国平均を上回っています。

英語は全国平均を下回りました。「聞く」「話す」「読む」の領域は全国水準ですが、「書くこと」に課題が見られました。

この調査では、生徒への質問紙調査も行われました。その中で、望ましい結果となったのは以下の内容です。なお（ ）内は肯定的な回答の割合です。

○数学の勉強は好きですか。(金井中 78%、全国 58%)

○総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか。

(金井中 80%、全国 62%)

○1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか。(金井中 71%、全国 56%)

○家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。(金井中 62%、全国 50%)

これらを踏まえ、全職員で次のことを確認し、全校体制で指導をしています。

ア 国語と数学については、これまでの方針に基づいて同様の指導を継続する。

イ 数学に限らず学ぶ楽しさを味わわせ、「勉強が好き」な生徒を育てる。

ウ 英語については、生徒が主体的に取り組む学習活動を通して確かな技能を身に付けられるようにする。

エ 学び合う学習を重視し、共に高まろうとする集団に育てる。

オ 身に付いてる家庭での学習習慣を継続できるようにする。

1年生地域文化体験



佐渡おけさ、舞踊、民話、能など、1年生は伝統芸能を学びます。地域の講師の方からご指導いただく中で、伝統を学ぶ意味も考えます。発表会は、11月21日です。

2年生課題解決型職場体験学習



9月12、13日、2年生は、職場体験学習を行いました。働くことの意義や大変さを体感することができました。この体験を今後の進路学習に生かしてほしいと思います。

学級の改善を全員で考える！公開授業研修会



9月24日、市内の中学校の先生方を招いて、学級活動の公開授業研修会を行いました。学級の現状を分析・共有し、学級の課題解決に向けての改善策を、一人一人が真剣に考え発表しました。